

生活福祉委員会管外行政調査

1 期 間

平成22年8月30日(月)から9月1日(水)まで

2 調査場所・目的

(1) 京都府京都市【有限会社河本研究室(訪問介護ケアステーションおもいやり)】

介護施設の職員は低賃金であり、かつ、仕事も過重であることが多い。職員の約半数は賃金の低さに不満を感じており、さらに介護職場の離職率は、全産業平均の離職率15.4%を約6ポイントも上回る21.6%になっている。そのため、介護の質の低下が懸念されており、雇用環境の改善は定着率の向上に欠かせない要素の一つである。

調査団体が運営している介護施設では、介護報酬の5割を働き手に還元することを目指して事業化し、パソコンの活用による大幅な合理化などで職員の報酬を約2倍にした中でも、営業利益を確保している。

当該事業所の運営手法や介護職員の労働環境などを調査し、今後の論議の参考とする。

(2) 京都府京都市【京都市考古資料館(財団法人京都市埋蔵文化財研究所)】

当区では、平成21年3月に東京都より譲渡された都立日比谷図書館を、区立日比谷図書文化館として来年夏の開館に向けて改修工事を行っている。

新・日比谷図書文化館は、館全体は指定管理者により運営されるが、文化館の機能は区の直営であるため、区と指定管理者間の連携は非常に重要である。また、展示及び収納スペースなどは、これまでの四番町歴史民俗資料館より拡充される予定である。

京都市考古資料館における特別展示やオープン展示の方法と内容、館における蔵書の状況などを調査し、今後の論議の参考とする。

(3) 広島県尾道市【尾道市高齢者福祉計画及び第4期介護保険事業計画】

当区では、高齢者の在宅医療と介護の連携プロジェクトを推進しており、今後は課題の検証や整理を進め、また、専門職団体との意見交換を実施しながら、(仮称)千代田区在宅療養支援ネットワークの組織化を目指しているところである。

尾道市では主治医機能を軸に医療、介護を一体的に提供するケアマネジメントシステムが確立され、現在ではさらに社会福祉協議会、民生委員などとも連携して新地域ケアの構築へと発展しており、全国的にも注目を集めているその内容を調査して、今後の論議の参考とする。

(4) 広島県尾道市【公立みつぎ総合病院及び保健福祉総合施設】

当区では、高齢者が困ったときにいつでも利用出来る24時間365日対応の総合相談機能をはじめ、在宅ケア、生きがい活動、ケア人材の育成・研修、多世代交流といった5つの拠点を併設した(仮称)高齢者総合サポートセンターの整備を進めています。

当該施設は、医療部門の病院と行政部門の保健福祉センターとともに、尾道市御調町の地域包括ケアシステムのハード面を構成する介護老人保健施設やケアハウスなどの施設であり、当該施設を調査し、今後の論議の参考とする。

(5) 兵庫県神戸市【総合型地域スポーツクラブ及び王子スポーツセンター】

当区では、平成20年3月に策定したスポーツ振興基本計画に基づき、子どもから高齢者まで気軽にスポーツに参加出来る、総合型地域スポーツクラブの設立を目指しています。

神戸市では、2010年を目標年次とした神戸アスリートタウン構想に基づき、総合型地域スポーツクラブを設立することを構想のリーディングプロジェクトとして実行し

てきました。その結果、市内全域に総合型地域スポーツクラブが設立され、市民がスポーツを身近に楽しむ体制が形成されています。

また、総合型地域スポーツクラブの主たる活動の場は小・中学校であるものの、指定管理者による市立スポーツセンターでは同クラブを支援する事業が実施されるなど、行政、総合型地域スポーツクラブ及び指定管理者との連携が行われています。

同構想及びリーディングプロジェクト並びに当該施設を調査し、今後の論議の参考とする。

3 行程概要

(1) 8月30日(月) / 第1日目

午前 東京(東京駅) [新幹線] 京都市
午後 京都市内行政調査(有限会社河本研究室/京都市考古資料館)
(宿泊 京都市内)

(2) 8月31日(火) / 第2日目

午前 京都市 [新幹線] 尾道市
午前~午後 尾道市内行政調査(尾道市/公立みつぎ総合病院)
午後 尾道市 [新幹線] 神戸市
(宿泊 神戸市内)

(3) 9月1日(水) / 第3日目

午前~午後 神戸市内行政調査(神戸市/市立王子スポーツセンター)
午後 神戸市 [新幹線] 東京(東京駅)

4 参加予定人員

10名(委員8名/事務局職員2名)

(1) 委員

委員長	嶋崎 秀彦	副委員長	福山 和夫
委員	野沢 けいすけ	委員	林 則行
委員	寺沢 文子	委員	大串 ひろやす
委員	松本 佳子	委員	戸張 孝次郎

(2) 事務局

議事主査	桐谷 孝行	議事主査	中根 昌宏 [担当書記]
------	-------	------	--------------

5 経費概算

¥937,000-

(1) 交通費

(東京 京都)	14,000	×	10名	=	140,000
(京都 尾道)	9,000	×	10名	=	90,000
(尾道 神戸)	7,600	×	10名	=	76,000
(神戸 東京)	8,000	×	10名	=	80,000

(2) 宿泊費

14,800 × 10名 × 2泊 = 296,000

(3) 調査地内移動用借り上げバス

@80,000 × 3日 = 240,000

(4) 調査団体あて手土産代

@2,500 × 6箇所 = 15,000